



『坂本真綾:I.D.』

私がパーソナリティをつとめるラジオ番組「坂本真綾 I.D.」が、今年10月で4年目に突入しました！

関東にお住まいの方しかなかも聞ける機会もないかもしれませんが、Nack5で毎週日曜日25分間の放送が、まる3年続いています。いつもたくさんのお葉書、ありがとうございます！

番組が始まったのは、98年。ということは、私は18歳。大学1年生の頃です。ちょうど2ndアルバム「DIVE」が発売になる、少し前でした。

自分のラジオ番組を持つにあたって、最初に決めたテーマや、目標のようなものがあるのですが、それは3年たった今でも貫くことができていると思っています。

まずひとつは、番組内の1コーナー「真綾's FILE」。

ここでは毎週、私のお気に入り女性アーティストの曲を1曲かけるのですが、この“女性アーティストに限ってかける”というルールは、第1回目の放送の時から変わっていません。

とは言っても、実はこれは最初の段階では“こだわり”ってほどのものではなくて、なんか、ただお気に入りの曲を紹介するのだけじゃ面白くないな、と思って、あんまり深く考えずに「じゃあ女の人だけかけてみよう」と思い付いたんで始めたんですけど、、、(内心、飽きたら「男性アーティストだけ」っていうルールに変えてもいいかな、と思っていたことも事実)。

でもこれに関してはなぜかディレクターが厳しくて、私が挫折しそうになると「いや、もうちょっと続けようよ」とルールを変えることになかなか賛成してくれませんでした。

それが今になってみると、続ければ続けるほど、世界中の女性アーティストについてより一層興味が湧いてきたり、知識も色々得る事ができたりと、私にとってプラスとなる効果をもたらしてくれたと思っています。ルールを変えることに反対してくれたディレクターに感謝です。

もうひとつは、葉書募集のコーナー。

これは私が「リスナーの皆さんとキャッチボールがしたい」という希望を出したことによって生まれたコーナーなんです。

いただいたお葉書を紹介して、それに私が答えたりするだけでなく、できれば何週にもわたって同じテーマについてみんなで話したい。先週紹介したリスナーの意見について次の週で他のリスナーが何かコメントしてくれるのもいいし、ひとつの疑問を色々な人の知識や意見をもとに解決するのもいい。

とにかくキャッチボール、あるいは鎖みたいにくっつくも輪が繋がっていくような会話をしたい。それがこの番組に望むときの私の希望でした。

テーマを変え、方法を代えながらも1つのコーナーとして3年間続いています。

どんなテーマの時も毎回たくさんのお葉書が寄せられ、大変嬉しく思っています。

私がこのコーナーでとても嬉しいのは、葉書の量というよりも、その内容です。

どうしてかという、色々なテーマや出来事に対して自分の意見をちゃんとと言えるというのは大事な事だと感じるからです。

たとえば、「男女間の恋愛は成り立つか？」って聞かれて、答えは「成り立つ！」でも「無理！」でもどっちでもいいんです。自分がどうしてそう思ったのかを言うことが大事だし、必要なんだと思うのです。

リスナーの方々の多くは、私と同世代、あるいはもっと年下の方がほとんど。だからこそ、私達若い人たちがこうやって自分の意見を話したり、頑張ってる事について報告したりしている様

子が誇らしくもあり、活発な意見の場を色々な世代の人たちに聞いて欲しいと思います。

スタッフも最高です。私にとって、良きアドバイザーであり、理解者で、友達です。とても仲がいいので、よく一緒にごはんを食べにいきます。

私は自分の話術(あはは。この言葉もまた変だけど)には、正直言ってどうも自信がありません。

人前に出ると緊張して喋れなくなっちゃうタイプというわけではなくて、なんというか、自分が思っていることや感じていることがそのまま真空パックで届くわけじゃないから、怖いんです。伝えたい気持ちや、聞いて欲しい事ならいっぱいあるんだけど、それをどんな言葉で、どんなふうに話せばちゃんと伝わるんだらうって、不安になってしまうんです。だから昔から、すぐ本音をごまかしたり、ことばを胸の中で止めてしまったりする癖があります。

そんなこと気にせず、ハートで伝えればいいんだ！って頭ではわかってるんですけどね。

だからラジオは、決して得意分野じゃ無いと自分で思っています。怖い部分は消えないかもしれない。だけどこの大好きなスタッフがいるから、いつもリスナーのことばに支えられてるから、私楽しいんです、I.D.が。

それに、テレビよりラジオっ子だった私にとって、ラジオの世界でお仕事ができるのは本当に本当に幸せなことだと思っています。嬉しいです。

あとは、末長くこの番組が続いてくれるといいな〜と願っています。

思うんだけど、苦手な分野だからこそ、学ぶ部分や成長できるきっかけがいっぱいあるんじゃないかな？

4年目に突入して、これからもっともっと私自身が成長していきたいし、より一層楽しい番組になるように頑張ります。何より、精一杯ハートで、素直に私がことばを発していけるように。今後ともどうぞよろしく！！

\* maaya \*

(illustrated by maaya.)

... THE ID